

令和2年度 授業改善推進プラン（課題分析と授業改善策）

教科名	数学科
-----	-----

学校番号 12 学校名 貫井中学校

課題分析	授業改善策	改善状況
<p>&lt; 1 学年 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本の定着に重点を置きつつ、発展的な内容も授業内で扱うことで、授業にメリハリを付ける必要がある。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、グループワークによる学び合いの機会を確保し、道具的理解に止まらず、意味的理解をさせるようにする。</li> <li>・習熟度別少人数授業を活用した個に応じた指導の充実を図ることが課題である。</li> </ul> <p>&lt; 2 学年 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の定着が不十分な生徒が多い。また、その生徒たちの授業に取り組む姿勢にも課題が多いので、基本的な生活習慣も含め、授業を受ける姿勢の改善に努めていく必要がある。</li> <li>・定期考査において、<math>4x^2 - x^2 = 4</math>となる生徒が全体の26%であった。基礎基本の定着を図っていかなければならない。</li> </ul> <p>&lt; 3 学年 &gt;</p> <p>生徒へのアンケート結果から数学の授業に対して、とても意欲的であることがわかる。</p> <p>生徒へのアンケート結果から、「学習形態のバリエーションがあるか」「あなたの実生活に役立たせることができるか」が他の質問と比較して結果が低い。前者については、新型コロナウイルスの対応としてグループ学習を控えたことが原因として挙げられる。</p> <p>小テストでは、『<math>x^2 - 9x</math>を因数分解しなさい。』の正答率が46%であった。基礎的な発問であるにもかかわらず、正答率が低い。</p>	<p>&lt; 1 学年 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本の定着のため、演習の時間において、学び合いの充実を図り、机間指導による支援を行う。</li> <li>・ねらい・評価・まとめを明確に設定することで、生徒自身にその授業で身に付けるべき力を理解させながら授業を行う。</li> <li>・家庭学習の課題を授業時数の3分の2以上の授業で課し、その日の授業で学んだ内容の定着を図る。</li> </ul> <p>&lt; 2 学年 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別少人数授業の特性を生かして、既習事項の復習より基礎基本の徹底を図っていく。</li> <li>・家庭学習の充実を図り、種々の提出物が提出することが第一目的とならないよう指導を継続していく。</li> <li>・コロナ禍のため、控えていたグループワークを応用問題や証明問題などに活用していく。</li> </ul> <p>&lt; 3 学年 &gt;</p> <p>学習形態は、聞く・書く・考える時間などメリハリをつける。主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、グループワークによる学び合いの機会をつくる。</p> <p>数学と実生活との関連を実感できる事例を紹介することを意識する。</p> <p>基礎・基本の定着を図るとともに、使用する基礎的知識を正しく取捨選択できるように、混合問題を扱う。</p>	

